

第1期 道の駅なかせん 拠点構想



道の駅なかせん拠点構想推進委員会
大仙市中仙支所地域活性化推進室

令和4年9月

目 次

第1章 拠点構想策定の趣旨	1
1. 構想策定の目的	
2. 構想の位置づけと計画期間	
第2章 中仙地域と道の駅なかせんの概況と課題	2
1. 中仙地域の現況	
2. 道の駅なかせんの現況	
3. 道の駅なかせんに関するアンケート結果	
4. 課題の整理	
第3章 目指す目標と施策の体系	5
1. 目指す目標	
2. 施策の柱	
3. 構想の体系と具体的な取組・事業	
第4章 施策のK P I と具体的な取組・事業の内容	7
施策1 地域の特色が詰まった、ここにしかない道の駅に	
施策2 美味しいものが買える、食べられる美食の道の駅に	
施策3 寄ってみたい、いつでも行きたい魅力あふれる道の駅に	
施策4 結びつき、交流が生まれる道の駅に	
施策5 地域に愛される住民誇りの道の駅に	

発 行 大仙市中仙支所地域活性化推進室

〒014-0292 秋田県大仙市北長野字茶畑141

TEL 0187-56-2111 FAX 0187-56-2118

<https://www.city.daisen.lg.jp/>

第1章 拠点構想策定の趣旨

1. 構想策定の目的

道の駅なかせんは、平成8年3月に、農業技術、農業経営者の育成、米を活用した加工、研究による高付加価値農業の展開並びに農業の活性化、農業情報やコミュニティ情報の発信、交流の促進を図ることを目的に建設されました。また、平成23年4月には、賑わいの創出、施設利用客の増加、営業利益の向上、地域農業の活性化を図るため改修工事を実施し、リニューアルオープンしています。

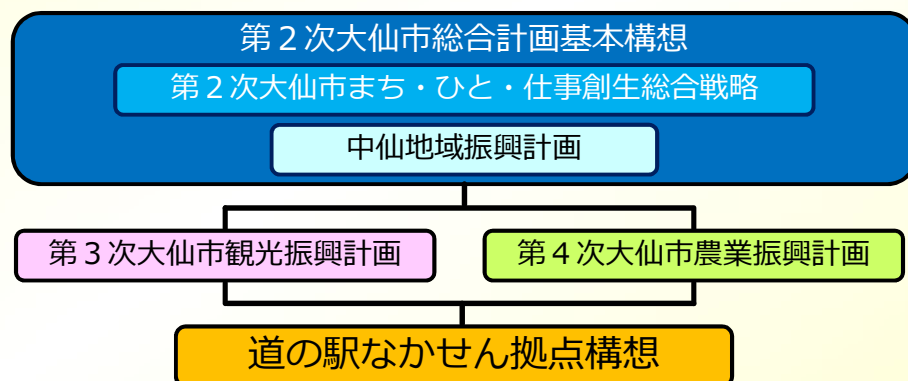
一方、国土交通省では道の駅のコンセプトを、第1ステージ（1993年～）は「通過する道路利用者のサービス提供の場」、第2ステージ（2013年～）は「道の駅自体が目的地」としてきましたが、第3ステージ（2020～2025年）においては「地方創生・観光を加速する拠点」及び「ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献」として推進するとしています。

道の駅なかせんが、これまで以上に休憩、情報発信、地域連携を担う施設として、地域内外のより多くの方々に利用され、さらには交流、観光、産業、経済振興に寄与する地域の拠点施設とすることを目的に「道の駅なかせん拠点構想」を策定します。

2. 構想の位置づけと計画期間

本構想は、本市の最上位計画である「第2次大仙市総合計画基本構想（その地域版である「中仙地域振興計画」を含む）」及び「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、「第3次大仙市観光振興計画」及び「第4次大仙市農業振興計画」の基本方針や目標、施策について整合を図ります。

また、実行性のある構想の推進と社会情勢や政策、地域状況の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、計画期間を3年サイクル（※）としながら、随時見直しとフォローアップを行います。



計画期間：令和4年9月から令和7年3月（※第1期のみ左記の期間とする。）

第2章 中仙地域と道の駅なかせんの概況と課題

1. 中仙地域の現況

(1) 地域の地理的条件

中仙地域は、大仙市の東部に位置し、面積は78.92km²です。交通の面では、JR田沢湖線と国道105号線が北の仙北市（角館町）と南の大曲地域を繋ぐ位置にあります。気象は内陸性の気候で、冬は最大110cm程の積雪があります。



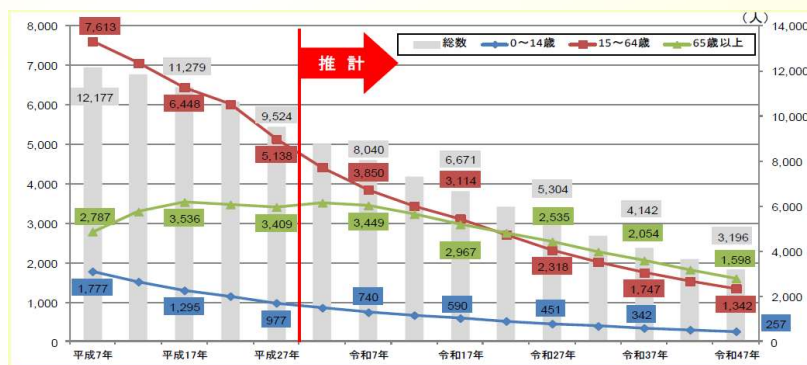
(2) 地域の変遷

江戸時代には、佐竹義廉公が紫嶋城において北浦を広く統治し、長野地区を中心に北浦の政治や経済の中心地として繁栄していました。

昭和30年3月に、長野町、清水村、豊川村、豊岡村が合併し、中仙町（中仙地域）になりました。

(3) 人口の動向

大仙市が平成28年3月に策定（令和2年3月改訂）した「大仙市人口ビジョン」では、中仙地域は平成7年には12,177人だった人口が、平成27年には9,524人に減少しており、令和47年には3,196人にまで減少すると推計されています。



(4) 地域の特色や特産品

毎年、4月中旬から5月上旬にかけて「なかせん桜まつり」、8月16日に「ドンパン祭り」、10月中旬に「全国ジャンボウさぎ」が開催され、「なかせん千本桜」「ドンパン節」「中仙ジャンボウさぎ」は地域を代表する自然・文化・畜産資源の一つです。秋田県唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」が「水神社」に祀られています。「杜仲茶」「杜仲麺」「杜仲豚」は、代表的な名物・お土産品です。畜産は市内で最も和牛の繁殖が盛んで、農産物は米、大豆、枝豆、トマトが多く栽培されています。



2. 道の駅なかせんの現況

(1) 施設の立地特性

国道105号線と県道土川中仙線の交差点に隣接し、仙北市（角館町）と大曲地域の中間点に立地しています。施設裏手には齊内川が流れ、河川敷は親子連れなどに利用されています。JR田沢湖線羽後長野駅や大仙市中仙庁舎からは、南へ1.5kmほどの距離の位置にあります。



(2) 施設の変遷

大仙市中仙地域農業総合管理施設「こめこめプラザ」は、平成8年4月にオープンし、翌9年10月に秋田県12番目の道の駅として登録されました。平成23年にはリニューアル工事を行い、施設内に野菜直売所、米粉菓子製造室、正面入口へのスロープの新設、休憩施設へのアーケード新設等の整備を行っています。

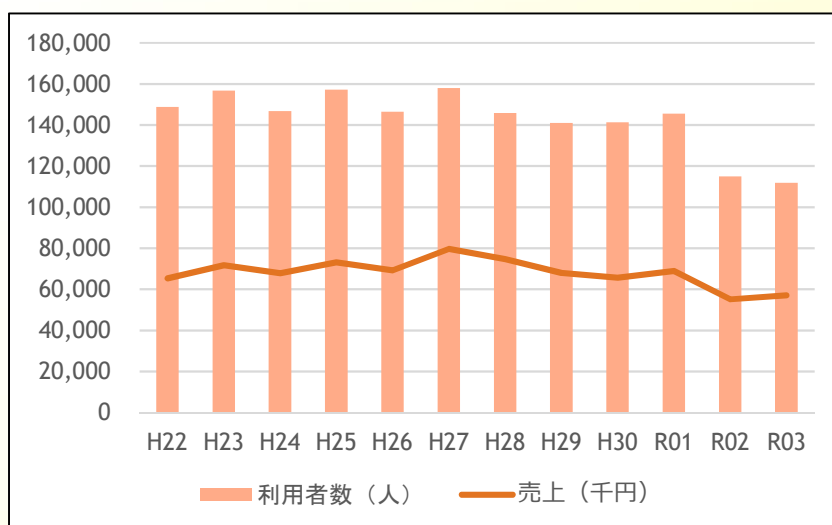
管理運営は、平成18年から物産中仙株式会社が指定管理者として市から委任されています。主力農産物である米を活用したおかき工場が操業されていましたが、平成28年に改修を行い、翌29年8月から合同会社ダイセン創農が市から施設管理委託を受け、トマトジュース等の製造販売を行っています。



(3) 利用者数・売上の推移

平成22年度以降の実績では、利用者・売上ともに令和元年度まではほぼ横ばいとなっていますが、リニューアルを行った平成23年度以降、わずかな増減を繰り返しながら緩やかな増加傾向が伺え、全国的に外国人観光客が多かった平成27年度にそれぞれ最高の157,964人、79,678千円となり、その後ゆるやかに減少しています。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者、売上ともに減少しています。

年度	利用者数 (人)	売上 (千円)
H22	148,783	65,419
H23	156,659	71,678
H24	146,714	67,846
H25	157,105	73,200
H26	146,407	69,227
H27	157,964	79,678
H28	145,816	74,672
H29	140,942	68,012
H30	141,271	65,745
R01	145,480	68,902
R02	114,931	55,137
R03	111,738	57,126



3. 道の駅なかせんに関するアンケート結果

令和3年度に実施したアンケート調査では、地域の野菜やお土産品の購入、レストランでの食事、周辺観光資源との連携、子ども連れなどが楽しめることなど、「美味しいもの」「楽しいこと」を期待する回答が多く寄せられました。また、地域の特色や、目玉となるここでしか食べられない、買えないものなど、地域特色を活かすことを求める声も多く寄せられました。

道の駅なかせんへ期待する・改善してほしいこと

・施設・設備

No.	項目	割合
1	駐車場の出入り・使いやすさ	44.2%
2	建物の出入りのしやすさ	20.6%
3	トイレの利用しやすさ	21.1%
4	その他	14.1%

・運営・サービス

No.	項目	割合
1	野菜・特産品等の充実	43.7%
2	レストランの充実	18.5%
3	休憩コーナーの充実	17.9%
4	その他	19.9%

より多くの方に利用していただくために必要と思うこと

・施設・設備

No.	項目	割合
1	こどもの遊び場・遊具の設置	30.7%
2	誘導看板の充実	24.0%
3	電気自動車充電スタンド整備	17.1%
4	その他	28.2%

・運営・サービス

No.	項目	割合
1	周辺観光資源との連携	25.3%
2	市外、県外の特産品コーナー設置	21.6%
3	交通拠点の整備	11.2%
4	その他	41.9%

駐車場が見えづらい、入りづらい、使いづらい、せまい（53件）
建物の階段、入り口が狭く入りづらい。中が暗い（48件） 計101件

自由意見

地域の特色を。目玉になるものを。ここでしか食べられないもの、買えないものを（35件）

野菜直売の充実を。地域特産品のおみやげの充実を（24件）

4. 課題の整理

（1）中仙地域の課題

- ・人口減少への対策や交流人口の創出などの取組
- ・地域の優れた観光・自然、文化、畜産資源等のさらなる周知と活用

（2）道の駅なかせんの課題

- ・隣接地域や周辺環境など、立地特性を活かした取組の推進
- ・施設の利用者及び売上の向上
- ・駐車場や施設の快適性、利便性の向上
- ・地域の特色を活かした特産品や地元野菜の充実

第3章 目指す目標と施策の体系

1. 目指す目標

道の駅なかせんは、これまでも多くの方々に利用されてきましたが、施設や駐車場の快適性や利便性の向上や、地域内外の様々な地域資源との連携、周辺環境のさらなる活用等により、より魅力ある施設となる可能性を秘めています。また、地域の観光と地方創生の拠点施設として、これまで以上に地域の人々の活動や地域の魅力を多くの人に届ける情報発信を担うとともに、地域内外の人々が集い、交流する場となり、地域が抱える人口減少や交流人口創出などの課題解決に寄与することが望まれています。



『人が訪れ、人が集う「楽しい」「美味しい」があふれる観光と交流の拠点』を目指します。

2. 施策の柱

目標を達成するための5つの施策の柱を次のとおり定めます。

施策1 地域の特徴が詰まった、ここにしかない道の駅に

施策2 美味しいものが買える、食べられる美食の道の駅に

施策3 寄ってみたい、いつでも行きたい魅力あふれる道の駅に

施策4 結びつき、交流が生まれる道の駅に

施策5 地域に愛される住民誇りの道の駅に

3. 構想の体系と具体的な取組・事業

道の駅なかせん拠点構想

人が訪れ、人が集う「楽しい」「美味しい」があふれる観光と交流の拠点

施策1

地域の特色が詰まった、ここにしかない道の駅に

なかせん千本桜プロジェクト

「ドンパン節の里なかせん」活性化プロジェクト

施策2

美味しいものが買える、食べられる美食の道の駅に

野菜直売増進事業

屋外出店イベント開催事業

地域特産品商品化事業

施策3

寄ってみたい、いつでも行きたい魅力あふれる道の駅に

道の駅駐車場機能改善事業

こめこめプラザ改修事業

賑やか空間創出事業

斉内川河川敷等活用事業

地域公共交通接続事業

施策4

結びつき、交流が生まれる道の駅に

地域自然資源連携事業

地域観光資源連携事業

地域文化・スポーツ連携事業

広域連携推進事業

施策5

地域に愛される住民誇りの道の駅に

地域ボランティア団体連携事業

地域事業所連携事業

地域小中学校等連携事業

第4章 施策のK P I と具体的な取組・事業の内容

施策1 地域の特徴が詰まった、ここにしかない道の駅に

なかせん千本桜プロジェクト事業

大仙市を代表する桜の名所「なかせん千本桜」のポテンシャルを活かし、桜と地域の知名度とイメージ向上を図るとともに、季節観光客の誘客を図る。

K
P
I

目標	R3実績	R6目標
観桜期間中来客数	9,253人	12,000人

① なかせん桜まつり開催支援事業

なかせん桜まつり開催期間中の催しやイベントの内容の拡充や、観桜環境の向上を図る。

- ・ イベントデー支援 ・ 斉内川堤の桜のライトアップ
- ・ 桜アーチ街道臨時駐車場の設置、散策路の整備
- ・ 桜まつり期間中の道の駅の営業時間延長 など



② 桜サポーター事業

八乙女山やその周辺の桜保全、再生を応援するサポーターを募り、保全活動の担い手となっていただくほか、「なかせん千本桜」の魅力を拡散する発信者として活躍していただく。

「ドンパン節の里なかせん」活性化プロジェクト

全国的に知られる中仙地域発祥の「ドンパン節」。その知名度を活かし、夏の一大イベント「ドンパン祭り」とその踊り子「ドンパン娘」の観光資源としての活用を図る。

K
P
I

目標	R3実績	R6目標
ドンパン関連商品売上高	17千円	170千円

① ドンパン娘ブランド化事業

ドンパン娘のキャラクターやロゴを作り様々な商品へ活用し、「道の駅なかせん」ブランドの限定商品を制作する。また、子供達に親しまれるイラストを活用し、地域の未来を担う若年層の郷土愛の醸成と地域文化への理解と増進を図る。



② ドンパン節エキシビジョンホール設置事業

休憩ホールや情報センターを活用し、ドンパン節の歴史やドンパン祭りの臨場感の伝わる展示や映像装置による、「ドンパン節エキシビジョンホール」を設置。また、観光客が絆を着て記念撮影できるサービスや、ドンパン娘の踊り披露や踊り講習会の開催などが可能なスペースの設置を検討。



施策2 美味しいものが買える、食べられる美食の道の駅に

KPI	目標	R3実績	R6目標
	道の駅売店売上高	57,126千円	74,000千円

野菜直売増進事業

野菜直売の更なる充実に向け、出品会員の募集の強化や、生産者と購入者の距離を近づける工夫、季節の野菜などの直売カレンダーの作成、農産品の説明を行う従業員の農産品マイスターとしての育成等を実施。また、米の購買を促すため、簡易精米機の設置を検討する。

屋外出店イベント開催事業

軽食、ワケあり野菜等の屋外テント市や、定期的な野菜・果物・肉フェス等の開催、地域の飲食店を一同に集めたうまいもの市、他所の道の駅（県南・象潟・雫石・大崎・宮古）と連携した屋外物販イベント等を開催。

地域特産品商品化事業

中仙地域の食材を活用した特産品を開発。中仙地域の飲食店で提供や、お土産品としての販売を目指す。

①ジェラート開発事業

「道の駅なかせん」でなければ味わえない桜ジェラートや花火ジェラート、野菜を使ったジェラート等の開発。

②「日本酒と酒のアテ」商品開発事業

日本酒とジャンボウさぎや漬物等の酒のアテのセット土産品の開発。

③ジャンボウさぎ等地域特産品化推進事業

ジャンボウさぎ肉（『中仙月夜』としてブランド化）や杜仲豚を使ったお土産品や、レストランでの新メニューの開発などを行う。

④野菜加工商品販売促進事業

漬物やごはんにか合うおかずなどの加工商品のPRや開発を行い、六次産業化を推進。



施策3 寄ってみたい、いつでも行きたい魅力あふれる道の駅に

KPI	目標	R3実績	R6目標
	道の駅年間利用者数	111,738人	145,000人

道の駅駐車場機能改善事業

大型車の駐車スペースを拡幅するとともに、普通車用駐車場から国道への動線を見直し利便性の向上を図る。また、国道端緑地帯の樹木伐採及び盛土整地により、国道からの駐車場や建物への見通しを改善するとともに、花壇やプランターを設置し敷地外観の美化を図る。



こめこめプラザ改修事業

建物南側へのスロープの設置や石畳の劣化でがたつきが生じている歩道の改修等、高齢の方や障害のある方へ配慮した改修や、建物への入りづらさ、分かりづらさを解消するため、狭く建物内部が見えづらい入口の改修、野菜直売所、トイレなどが一目でわかるオリジナルピクトグラム等での案内看板の充実を行う。また、「ドンパン節エキシビジョンホール設置事業」と連動し、休憩ホールや研修室の有効活用の検討や、トイレ休憩施設との間のスペースの活用について検討を行う。

賑やか空間創出事業

賑やかさを演出するのぼり旗を拡充するほか、桜まつりの開催支援、秋まつりの開催など継続しながら、ミニ種苗交換会、最先端農機具設置、園芸指導教室の開催など、多種多様なイベントの開催を検討する。また、スマホアプリ等を活用した新技術を活用した子供向けイベント等の開催も検討する。

斉内川河川敷等活用事業

斉内川の親水公園整備、河川敷のバーベキュー広場、堤防道路を周回する散歩・サイクリングコースの設定、併せて要望の多いベンチ等休憩設備の設置等を検討する。また、道の駅敷地内も含め、子供たちが過ごせる遊具の設置も検討する。

県河川改修事業時において県振興局と協議し、施設整備を実施。



地域公共交通接続事業

乗合タクシー及び乗合自動車の乗降所を設置する。また、羽後交通の乗降所の設置について協議、検討を行う。

施策4 結びつき、交流が生まれる道の駅に

K P I	目標	R3実績	R6目標
	連携事業実施回数	1回	4回

地域自然資源連携事業

千本桜エリア（八乙女山、桜アーチ街道、斉内川堤）や、新緑・紅葉エリア（十六沢城址公園、小沼神社）等について、パンフレット設置、説明員育成、季節の見どころを巡るツアーの開催等、連携を図る。



地域観光資源連携事業

八乙女山、桜アーチ街道の観桜から秀よし（鈴木酒造店）とその周辺の川湊の街並み、二日町公園から道の駅への周遊コースなどの旅行会社への提案や観光ガイドの育成や観光スポット巡りなどの開催を検討する。

また、黒川紀章設計事務所が設計した建物であることを強みとしたPRを検討する。

地域文化・スポーツ連携事業

国宝、水神社、小沼神社、菅江真澄の月の出羽路、円満造翁作品群等、案内人の育成、歴史と文化を巡るツアーの開催などを検討し、文化資源との連携を図る。また、八乙女交流センターとの連携や、千本桜エリアや川湊の街並みを楽しむウォーキングイベント開催などを検討する。



広域連携推進事業

大曲の花火、角館の桜まつりやお祭り、真木真昼自然公園など、中仙地域周辺の観光資源、自然資源との連携を図る。



施策5 地域に愛される住民誇りの道の駅に

K
P
I

目標	R3実績	R6目標
連携事業実施回数	2回	5回

地域ボランティア団体連携事業

中仙地域桜守協議会、八乙女山を守る会、十六沢城址公園を守る会など、精力的な活動を行っている地域ボランティア団体との連携を図り、斉内川堤の桜並木の保全等を協働で実施する。



地域事業所連携事業

地域内事業所の地域貢献活動として、敷地内の緑地帯や河川敷の保全活動を協働で実施する。

地域小中学校等連携事業

地域内の小中学校等が実施する「花いっぱい運動」や「秋桜プロジェクト」と連携し、花壇やプランターによる花植えを協働で実施する。

道の駅なかせん拠点構想推進委員会

中仙支所各部署、中仙公民館の職員、物産中仙、地域協議会、金融機関、地域団体、校長会等による推進委員会を設置し、拠点構想の推進を図る。

推進委員（令和4年度中の設立）

- ・中仙地域協議会
- ・中仙地域自治会連合会
- ・中仙連合婦人会
- ・一般社団法人大仙市観光物産協会
- ・大仙市商工会
- ・大仙市中仙地区建設業協会
- ・中仙金融懇話会
- ・秋田おばこ農業協同組合中仙総合支店
- ・中仙地区女性部
- ・ドンパン祭り実行委員会
- ・なかせん桜まつり実行委員会
- ・全国ジャンボウさぎフェスティバル実行委員会
- ・中仙地域桜守協議会
- ・豊岡魅力の里づくり協議会
- ・ふるさと中仙会を応援する会
- ・中仙地区小・中学校長会
- ・中仙中学校生徒会
- ・中仙地域PTA連合会
- ・物産中仙株式会社



